

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公表番号】特表 2018-532676 (P2018-532676A)

【公表日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2018-043

【出願番号】特願 2018-516120 (P2018-516120)

【国際特許分類】

C 03C 17/30 (2006.01)

C 08G 73/10 (2006.01)

C 09D 5/00 (2006.01)

C 09D 179/08 (2006.01)

C 09D 7/63 (2018.01)

【F I】

C 03C 17/30 B

C 08G 73/10

C 09D 5/00 Z

C 09D 179/08 Z

C 09D 7/63

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 25 日 (2019.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

ここに述べたように、低摩擦コーティング 120 は、高分子ハロゲン化ポリイミド化学組成物を含む。このハロゲン化ポリイミドシロキサンは、250、300、および 350 を含む、200 から 400 の範囲の温度で実質的に分解しないハロゲン化ポリイミドシロキサンなどの熱安定性ハロゲン化ポリイミドシロキサンから形成されることがある。これらのハロゲン化ポリイミドシロキサンは、カップリング剤の有無にかかわらずに施してよい。ここに用いたように、「ハロゲン化ポリイミドシロキサン」は、ハロゲン化されており、シロキサン部分を含むポリイミドを称する。「シロキサン部分」は、Si-O-Si 結合化学基を称する。そのハロゲン化ポリイミドシロキサンの 1 つ以上の単量体が、そのようなシロキサン部分を構成することがある。「ハロゲン化」化合物は、以下に限られないが、フッ素、塩素、臭素、および / またはヨウ素などのハロゲン原子を 1 種類以上含む化合物であり、その原子は、時々、炭化水素において水素原子を置換することがある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

化学構造 # 4 において、6FDA 単量体は 6F および BADS 単量体と重合され、ここで、6F および BADS 単量体の合計は、ハロゲン化ポリイミドシロキサン中に存在する 6FDA 単量体の量とほぼ等しい。化学構造 # 4 において、6F 単量体の BADS 単量体

に対する比は、 n 対 m の比で表される。実施の形態において、6 F単量体のB A D S単量体に対する比は、約8 : 2から約2 : 8、約7 : 3から約3 : 7、または約6 : 4から約4 : 6、例えば、約1 : 1などの約9 : 1から約1 : 9であることがある。他の実施の形態において、6 F単量体のB A D S単量体に対する比は、約9 : 1から約6 : 1、または約8 : 1から約7 : 1であることがある。それに加え、6 FのB A D Sに対する上述した比は、一般に、ハロゲン化ポリイミドシロキサンを形成するために使用される任意のアミン末端シロキサン単量体のハロゲン化ジアミン単量体に対する比として適用されることがあることを理解すべきである。